

令和3年度第1回始良・伊佐保健医療圏地域医療構想調整会議開催結果 【概要】

日時：令和3年7月8日（木） 18時30分～19時30分
場所：始良・伊佐地域振興局霧島庁舎（始良保健所）2階会議室
出席者：委員18名（代理出席2名含む。）、欠席者なし
傍聴者：18名（行政関係者8名、その他10名）

1 議長・副議長の選出

議長に始良地区医師会長佐藤委員、副議長に始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部長松岡委員が選出された。

2 報告事項（要旨） ※質疑・意見等は抜粋

(1) 始良・伊佐保健医療圏の概要等，病床機能報告制度について

— 事務局から説明 —

意見：令和2年度の数値は始良保健所による独自集計。国の確定値とは若干異なる可能性もあるが、現状を把握し、議論を進めていくために大事なことだと思う。

意見：慢性期病床はやや減少傾向にあるが、急性期病床は増加傾向にある。急性期病床の必要性については、疾患別の協議を行いながら、この地域における必要性を検討していく必要がある。

また、大都市と異なり、地方においては、急性期病床と高度急性期病床を一つの固まりとして考えた方が現実的だと思う。

意見：有床診療所の急性期と病院の急性期は立場が異なるため、分けて議論していく必要がある。

(2) 霧島市立医師会医療センター基本設計概要等について

— 事務局及び霧島市から説明 —

質問・意見なし

(3) 地域医療構想調整会議の進め方について

— 事務局から説明 —

質疑：（国通知）「地域医療構想の進め方について」で地域医療構想調整会議の協議事項として挙げられている「病床がすべて稼働していない病棟を再稼働しようとする医療機関」については、1年以上稼働していない病棟を再稼働する場合ということでしょうか？

回答（事務局）：はい。1年以上全く稼働していない病棟を指します。

意見：地域医療構想調整会議の協議事項として挙げられている「開設者を変更する医療機関（個人間の継承を含む）」について、当圏域においては、病院

が有床診療所の病床を，継承後に部門会を経て調整会議で議論されたことがある。今後は個人間の継承についても，事前に調整会議で議論することになる。

3 協議事項（要旨） ※質疑・意見等は抜粋

(1) 2025 年に向けた具体的対応方針について

— 事務局から説明 —

- ・ 各医療機関に「2025 年に向けた具体的対応方針に係る計画書」の作成を要請すること，計画書の様式（公立・公的医療機関も本様式を使用すること）及び調整会議での説明・協議の優先順位について案のとおり了承された。
- ・ 計画書の様式の修正については，議長に一任することが了承された。

4 その他

— 事務局から説明（今後の調整会議等のスケジュール等について説明） —

質疑：計画書の提出後に変更等が生じた場合の対応はどうなるのか。

回答（事務局）：計画書の提出後に変更等が生じた際は，事務局へ連絡いただきたい。適宜，始良地区・伊佐地区の各部門会を経て調整会議で議論をすることとしたい。

意見：今後，急性期と慢性期についてしっかり議論を進めていきたい。特に急性期については疾患別に議論していく必要がある。

意見：2025 年の必要量はあくまでも推計値である。地域の実情に応じて対応することになっており，それを議論するのが本調整会議の役割である。